

第2回大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想検討

委員会会議

議事録

(令和6年11月5日)

第2回大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想検討委員会会議を令和6年11月5日（火）市役所4階情報会議室において開催した。

次第は、次のとおりである。

1 議題

- (1) 大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想（素案）に対する意見への回答について
- (2) 「道の駅」整備構想案について

委員の出欠状況は次のとおりである。

出席（6名）

車戸 慎夫	高木 朗義	竹内 治彦
木村 幸雄	齋藤 常正	宇佐美 新品

オブザーバーの出欠状況は次のとおりである。

出席（1名）

加納 敏彦

欠席（1名）

富田 直樹

市の出席者は次のとおりである。

企画部長	高木 俊介	都市計画部長	河瀬 良康
地域創生戦略課長	藤埴 達也	都市計画課長	清水 克人
都市計画課長	佐竹 一仁	都市計画課	伊藤 孝弘
都市計画課	廣島 功二	都市計画課	矢田 佳大
都市計画課	角 夏希		

(開始時刻 15時00分)	
事務局	1 開会 ※出欠者の確認
部 長	2 あいさつ ※部長あいさつ（略）
事務局	・ それでは、要綱の規定により、ここからの議事の進行は、■■■■委員長様をお願いしたいと存じます。 ・ ■■■■委員長、よろしくお願いいたします。
委員長	3 議題 ・ それでは、議事を進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。 ・ 議事の円滑な進行に、皆様方のご協力をお願いいたします。 ・ 先ほどの事務局からの説明のとおり、議題(1)までは公開、議題(2)からは非公開といたします。 ・ なお、本日は、■■■■町の■■■■様ほか、4名の方から傍聴の申し出がございましたので、ここで、お入りいただきたいと思います。 ・ 議題に入る前に、本日の議事録署名者につきましては、■■■■委員と、■■■■委員をお願いしたいと思います。 ・ よろしくお願いいたします。
委員長	(1) 大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想（素案）に対する意見への回答について ・ それでは、議題の(1)、「大垣西 I C 周辺土地利用構想（素案）に対する意見への回答について」の説明を事務局よりお願いします。
事務局	・ それでは、「大垣西 I C 周辺土地利用構想（素案）に対する意見への回答について」ご説明させていただきます。 ・ 前方のスクリーンをご覧ください。 ・ 前回の会議の中で出されたご質問に対して、回答させていただきたいと思います。

事務局	・まず一つ目ですが、農業に関しまして、 ・大垣西 I C 周辺エリアの農業産出額についてのご質問と、新しい土地利用をすることで、当該地における現在の農業産出額を上回るのであれば、農業としてもプラスになるのではというご意見をいただきました。 ・本市では、調査検討地内の正確な農業産出額を公表していないため、大垣市全体の米の産出額を当該地の農地面積（約74ha）で按分し、当該地の米の産出額を推計しました結果、4,425万円となりました。 ・当該地は、I C 周辺という地理的優位性があることから、当該推計値をひとつの参考値としつつ、農業振興に資する、より付加価値の高い土地利用を検討していきたいと考えています。 ・次に防災に関して、大垣西 I C 周辺における洪水ハザードマップの L 2 の状況に関するご質問をいただきました。 ・大垣西 I C 周辺における L 2 の状況は、画面のとおりです。 ・想定浸水深は、大垣西 I C 周辺では2～3mですが、調査検討地内の南の方では4m弱となっています。 ・なお、国道21号においては、ほぼ冠水しないことが分かっています。 ・市内全体でみると、当該地の浸水リスクは低い方であり、このような大規模災害が起こった際の防災拠点の立地に適した場所であると考えられます。 ・続きまして、県の広域の災害、国交省の中部エリアの災害、特に南海トラフ地震等を見据えた支援拠点がどのようなになっているのかというご質問をいただきました。 ・現在、市の広域的な防災拠点はこちらの図で示したとおりです。市が策定する「大垣市地域防災計画」において、広域防災拠点と広域避難場所は北西部にほとんどない状況にあります。 ・広域的な支援・受援という観点から、高速道路の I C に近い施設に優位性がある中で、名神高速道路 大垣 I C には、浅中公園がありますが、大垣西 I C 周辺にはないため、防災拠点立地における有効性は高いと考えられます。 ・また、県単位で見ますと、「岐阜県災害時広域受援計画」において、東海環状自動車道沿線には岐阜県が指定する防災拠点施設が10か所以上あり、当該拠点とのアクセス性が高い位置にあります。 ・なお、この近辺で見ますと、中央防災会議幹事会が作成する「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」において、消
-----	--

事務局	防庁の消防部隊が進出する広域進出拠点として名神高速道路の養老SAが指定されています。 ・以上が第1回会議で出された質問に対する回答のご説明となります。 ・次に、「意見報告書に対する回答について」 ご説明させていただきます。 ・資料No.1をご覧ください。 ・初めに、土地利用構想の修正に関わるご意見についてです。 ・リニア中央新幹線の開業によりスーパー・メガリージョンが形成され、大垣市の人流・物流が増加し、イノベーションが発生すると思われる。また、現在、有数なモノづくり都市で名を馳せる大垣市が、コトづくり（付加価値サービス）が増加するようなインパクトをもたらすと思われる。スーパー・メガリージョンについて記載すべき。というご意見をいただきました。 ・こちらに関しましては、土地利用構想（素案）の9ページ、「(1)太平洋ベルトの中間地点」において、今後、リニア中央新幹線の開通によるスーパー・メガリージョンの形成が期待されるなかで、大都市間の中間地点に位置する本地区については、地域産品の市場拡大やビジネスチャンスの創出などが見込まれる旨の記載に修正します。 ・次に、付近に荒尾駅があるため、魅力的な施設が建設されれば、鉄道利用者の増大も期待できると考える。というご意見をいただきました。 ・こちらに関しましては、土地利用構想（素案）16ページの、3つの特性のうちの1つ、「交通アクセス」の中に、鉄道に関する記載を追記いたします。 ・次に、スマート農業技術活用促進法に基づき、スマート農業技術を活用し、農地の集約化・農地の適切かつ効率的な利用について、検討することを記載してはいかがでしょうか。というご意見をいただきました。 ・現在、土地利用構想の26ページ、「『農業』に関する土地利用の可能性」において、スマート農業の可能性についても言及しておりますが、左記の意見の趣旨を踏まえて、スマート農業技術を活用し、農地の集約化・農地の適切かつ効率的な利用の推進を検討する旨の記載に修正いたします。
-----	---

事務局	・次に、ドラマ「SHOUGUN 将軍」をはじめとし、我が国の歴史・文化に興味を持つ外国の方が増加し、インバウンド需要が激増するといわれている。大垣市の歴史・文化は世界に誇れるものであり、市のインバウンド需要の増加が期待できる「3 歴史・文化」のチャプターでは、写真を加えて掲載してはいかがか。というご意見をいただきました。 ・こちらに関しましては、土地利用構想の5ページの「3歴史・文化」に本市の歴史・文化に関する写真を掲載するものとします。 ・次のページをご覧ください。 ・次に、「水の都」のフレーズだけでは、魅力が伝わらないため、自噴水の魅力が体感できる場として印象付けることが緊要である。「うつくしい水」「おいしい水」にこそ魅力がある。「うつくしい水」が体感できる大規模ビオトープ（ハリヨ・ホテル・マコモダケ・カミツレ 等） ・「おいしい水」の魅力…持ち帰る可能な天然水、おいしい水を利用した水まんじゅうなどの菓子作り体験 ・「ゆたかな水」の魅力…自噴井戸・防災井戸としての活用 というご意見をいただきました。 ・こちらに関しましては、土地利用構想の16ページの、3つの特性のうち1つ、「風土」の中の、「豊富な地下水」について、「豊富で良質な地下水」という表現に変更します。 ・また、今後、より検討が具体的になってきた段階で、地下水によるアプローチについて検討いたします。 ・ここからは、今後の土地利用に関するご意見になります。 ・歴史・文化施設巡りができるサイクリングロードの整備を期待する。 （化石館、中山道赤坂宿、美濃国分寺、奥の細道、大垣城 など）というご意見をいただきました。 ・西美濃地域の歴史的建造物や自然スポットをめぐる「西美濃夢源回廊」においてはサイクリング周遊もできることから、それを活用したスタンプラリーといった既存の企画等とも連携を図りながら、観光施策の検討を進めます。 ・次に、広域防災拠点としての施設機能だけではなく、防災意識を高めるための防災・減災が体験的に学べる防災センターの設置を期待する。 というご意見をいただきました。
-----	--

事務局	・大垣西 I C 周辺においては「災害耐性」が高いという立地特性が挙げられ、「防災」に重きを置いた導入機能の設置については前向きに検討していく予定です。 ・次に、地域の魅力が体感できる「ものづくり体験」施設の建設を期待する。（枅作り、大理石加工、染色（Tシャツ、バンダナ）、革細工、和菓子作り など）。 ・地域の魅力を体感できる場、情報発信する場として有効に機能するよう、今後具体的な道の駅等の施設の検討の中で、導入可能性を検討いたします。 ・次のページをご覧ください。 ・次に、近辺に2,000名規模の集客が期待できる文化施設がないため、県内外から人が集まれる文化発信施設の建設を期待する。というご意見をいただきました。 ・大規模ホール等については、本市の他の施設計画と整合を図りながら、立地可能性を調査・研究いたします。 ・次に、子育て福祉機能を充実させることも考えてほしい。というご意見をいただきました。 ・多世代が交流できる場、地域で子育てを見守る場は重要であると捉えているため、今後、具体的な道の駅等の施設の検討の中で、導入可能性を検討いたします。 ・次に、東海地方No.1の道の駅となるようにシンボルとして大きなタワーを建設する。というご意見をいただきました。 ・独自性の観点から、真新しくシンボルになるような構造物は重要であると捉えているため、今後、調査・研究いたします。 ・次に、21号線の南側には防災・環境・子育てゾーン、北側には商業・観光ゾーンとしたらよい。というご意見をいただきました。 ・周辺の土地利用現況や交通アクセス性などを考慮し、今後、施設の配置について検討を進める予定としております。 ・次に、子育てのために、動物園・水族館を建設する。というご意見をいただきました。 ・今後、近隣類似施設の状況等も含め調査・研究いたします。
-----	---

事務局	・ 平常時は、滞在型観光を促進し、災害時は、電力供給などに役立つR Vパークを検討してはどうか。というご意見をいただきました。 ・ R Vパークは、「道の駅」と相性が良く、導入可能性について検討を進めます。 ・ 次に、多くの人が「行くのが楽しみ」「また行きたい」「一日中飽きなかった」などの評価や期待をもってもらえる施設になるよう熟考していただきたい。というご意見をいただきました。 ・ 今後具体的な道の駅等の施設の検討を行う際に、商圈調査をはじめ、周辺に立地する道の駅の導入機能の状況等の整理を行います。 ・ 次に、ハリヨの生息地の保全に関する研究や湧水がある箇所の保全が必要であると思う。というご意見をいただきました。 ・ ハリヨの生息地の保全については十分に考慮いたします。 ・ また、地域特有の魚であるハリヨの展示や生態を学べる施設についても検討を進めます。 ・ 次に、「道の駅」などの施設をいち早く整備してほしい。当該地で土地利用が進行するには、何かしら施設ができることが大事だと思う。全てを一度に作るというのではなく、できるものから少しずつ整備を進めていくことを検討してほしい。というご意見をいただきました。 ・ これらに関しましては、施設の段階的な整備も視野に入れて検討を進める予定です。 ・ 以上が「大垣西 I C 周辺土地利用構想（素案）に関する意見に対する回答について」の説明でございます。 ・ よろしく願いいたします。
委員長	・ ありがとうございました。 ・ ただ今、皆さんからのご意見・ご質問に対する回答をいただきました。 ・ 「追記します」「調査研究します」「検討いたします」というものがありますが、土地利用構想というのはこれらを練り、再度発表することによってよろしいですか。
事務局	・ 皆様から頂いた意見は、一度精査いたしまして、修正するものしないものに分類し、構想案の修正をいたします。

委員長	・ はい、わかりました。 ・ それでは、委員の皆さんにお送りいただけるということによろしいですか。
事務局	・ 修正した構想案をお送りいたします。
委員長	・ はい、わかりました。 ・ ただ今皆さんからの意見に対し、「追記します」「写真を載せます」「検討します」といった言い方の違いや、今後の進め方が異なるものなど多々ありますが、それをまとめて土地利用構想とするという事務局からのご説明ですけれども、これにつきまして何かご意見ありましたらどうぞ。
委 員	・ 私が出した意見の中の、広域防災拠点に関する意見についてです。 ・ 先ほどの説明の中で大垣西 I C 付近は、高いところにあり安全であるというお話がありました。 ・ しかし、今年の8月下旬に発生した台風10号により荒崎地区では災害が起きた場所があり、避難所についても全国ニュースになるような大きな水害を受けたところがありました。 ・ つまり、避難所や防災施設があるところは安全ですが、そこまで避難できないという事態が起きていました。 ・ 要するに、避難施設周辺が浸水し、肝心のアクセスができない可能性があることに考慮して施設の検討をしていただきたい。
委員長	・ はい、わかりました。 ・ なんとなく広域防災といって東海東南海沖地震の大きな地震のターミナル的な位置づけで、地域防災でも地震に関しては役立つかもしれませんが、水害は地域の局所的な冠水などがあり、その対応はどうするのかというご意見ですがどうですか。
事務局	・ いただいたご意見について、こちらの計画に反映できるかはわかりませんが、避難についても考慮させていただきたいと思います。
委員長	・ 排水機のカパアップはないけれども、ポンプを新しいものに変えて、徳山ダムができたこともあり、揖斐川のH. W. L（ハイ・ウォーター・レベル）が下がり、排水できることから地域内湛水するこ

委員長	となく、それは防げますということとは別に、何か策はありそうですか。
事務局	・大垣市としては、治水課で第2次治水10か年計画を策定し、各種排水対策を進めております。 ・本地区に関しましても新堀川排水機場の機能増強等の対策をとっていますが、前回会議の質問にもございました想定最大規模の浸水深に対して冠水しないような土地造成を考えたいと思います。 ・広域防災拠点としましては、国道21号は基本的に水がつかない想定になっていますので、拠点として機能するような施設設計および、自治会長さんからご提案があったような地域防災の拠点として機能するような施設設計を念頭に置きながら詳細に検討を進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。
委員長	・ありがとうございます。ぜひ配慮してご検討ください。 ・ほかに何かありますか。
委 員	・今回、ご回答いただいた内容はぼんやりしています。 ・市内の活性化を図るために大垣西 I Cを中心に土地利用を行うと思うのですが、要するに道の駅やハリヨ、関ヶ原、養老とコラボした観光を中心とした防災センターや商業施設、公共施設等を誘致しようという序列があると思うのですが、集客というように考えれば観光ですね。 ・私の希望としては、西の方に公共施設がないため、防災センターや消防署の分署、文化施設があるといいと思うのですが、活性化となると道の駅を中心とした観光になると思いますので、何を中心に広げていくかというお話をお聞きしたいです。
委員長	・はい、防災訓練や雪といった国の利益というか、経済の利益になるものは国が主体的に実施してくれると思います。 ・大垣西地域や周辺の人々にとって利益になる、価値を上げる方法として、歴史あるいは産業、文化交流などの様々な方法があると思いますが、土地利用構想というのはそういったものを含めてどこまでお答えできますか。
事務局	・土地利用構想素案の中でも観光、文化といった道の駅を中心に土地利用を進めてまいりたいと考えております。

事務局	・この後の2つ目の議事で、もう少し道の駅について詳しくお話させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
委員長	・次に、具体的に出るということですね。 ・実際にはほとんどのＩＣ周辺は開発され尽くしていて、唯一残っているのがここだけですので、既設のＩＣ開発を参考にしてこの後やっていただけたらと思います。 ・ほかにご質問等ございますか。
委 員	・私の提案、質問がいくつか載っていますが、「可能性を研究します」「検討します」といった文言になっており、来年の3月に議会に提案すると思うのですが、こういう文言で議会に提出されるのかどうかをお聞きしたいです。
委員長	・議会への提案はこの時点ではわからないのですが、どういう出され方をされるんでしょうか。
事務局	・今回こちらの検討委員会でお話させていただいているのは、あくまで土地利用構想案の中の一部の道の駅を中心という部分で施設についてご意見いただいたと考えています。 ・ですので、個別具体的な施設設計や、構成はまだ決まったものではないので、今後皆様方とお話の中でできるものできないものを精査していきたいと考えております。以上です。
委員長	・よろしいでしょうか。
委 員	・私が言いたいことは、この文章で議会に諮るわけですね。議会でこの言葉が通用するのかということです。
委員長	・議会に提出する資料はこのままではないと思います。 ・これはあくまで土地利用の素案で、土地利用の構想はこんな風に思いますが、現時点では道の駅に絞り込み、その実現のためにはもう少し具体的な何か、道の駅あるいは何かの拠点、子どもの遊び場、インバウンド用の施設といったものの可能性も含めて議会に提出するのではないかと思いますけど、ということでもいいんでしょうか。

事務局	・車戸委員長からご指摘がありましたように、今回我々がこの委員会で意見をいただいてまとめようとしているのは、あくまで土地利用構想になります。 ・この土地利用構想ではまだ具体的な施設の検討まで言及しておりません。 ・土地利用として導入すべき機能はどんなものが考えられるかというのを論じている段階になります。 ・ですので、例えば、観光機能に特化したときに、観光に位置する施設はなにがあるかという中で個別具体的な施設として水族館がいいのではという意見が出てきてそれを作ったらどうだという議論に進んでいくんだと思います。 ・まだ、現段階では土地利用構想ですので、具体的な個別の施設設計まで及んでおりませんので、そういった議論に関しては来年度以降、別途会議を設けて具体的な施設設計の意見をいただきながらまとめていきたいと考えております。
委員長	・やはり地域の人にとっては、今になって土地の利用なのかということでしょう。大垣西インターが完成して何年経つのか。随分前から計画があったんでしょう、今まで何をされてましたか、という思いがあるに違いないと思いますので、その辺りをよく考慮していただきまして、早急に具体的な案を作っていただかないと、皆さんおっしゃるように、遅くないかという気もしないわけではないです。 ・ただ逆に、いろんな成功例もあれば失敗例もありますのでそれをよく検証できるという意味では、アドバンテージがあるという考え方もできますので、より良いレポートにしていいただければと思います。よろしくお願いします。 ・午後4時には■■■■先生が退席されるとお聞きしていますので、次に移りたいと思います。 ・では、最後に■■■■委員にまとめていただきたいと思います。
副委員長	・一般的な道の駅ということで諮られても、やれるならやってくださいということであって、どんな道の駅かというところで議論すべきだと思うんですね。 ・前回申し上げましたけども、防災でそれが広域的に有益なものであったとしてもそれを大垣市の負担で作るんですかという話になりますから、どういった負担で、誰にとってメリットがある形で作っていくのが重要になってくる。

副委員長	・そういった点で、いろんな機能が書かれているんですけど、委員長が先ほど申し上げたように、誰にとっていいものになって作っていくんだというところをもう少し明らかにしていただいた方がいいのかなというふうに思います。 ・少し気になるのが、E T C 2.0がどれぐらい普及するのかというところですよ。 ・位置的には重なると思うんですけど、I C周辺整備という話と国道21号沿線整備の話が混在しているんですよ。 ・E T C 2.0の普及もそんなにしていないんですよ。だから、高速道路で広域通行をしている人がサービスエリアじゃなくてインターチェンジで降りてどこかに行くというのがどれぐらい期待できるのかを考えると、どちらかという国道21号で考える方が正解ではないかという気もしますので、その辺の整理もしっかりしていただかないといけないと思っています。 ・あまり大きく夢を広げていっても、土地利用構想素案の最後のところに書かれている一番決定的な土地利用規制にかかる課題として、この制約がどれくらいなのかというところが大事なところだと思っていますので、そういうところからご説明いただく方が腑に落ちるのではないかなと思います。 ・道の駅ということが可能性としてあるということであれば、整備していただきたいと前回から地元の皆さんは思っていらっしゃいますので、現状において、どんな道の駅なのか、駐車場とお手洗いをだけ作っても仕方がないので、そこにどんなものを整備していくのかという話が一番大事だと思います。 ・そこをもう少し具体的に示していただいた方が良いと思います。夢だけが広がってもいけませんので。
委員長	・まとめていただき、ありがとうございました。 ・最近では、周辺地域が消滅可能性自治体にほとんどがなっています。 ・西濃の西地域である関ヶ原、養老、池田がその対象地域ですが、それらを生かすも殺すもこの大垣西I Cをいかにうまく活用するか、国道21号をどう活かすかが重要です。 ・先程から何回もお話させていただいていますが、いかに価値あるものにしていくかということを考え、利益よりも価値を高めていただくということ、つまり社会資本の充実を進めていただければと思います。 ・ 委員もよろしいでしょうか。

委 員	・ はい、結構です。
委員長	・ はい、それでは議題(1)を終了したいと思います。
委員長	<u>(2) 道の駅整備構想案に対する意見への回答について</u> ・ それでは、議題の(2)、「道の駅整備構想案について」に移りたいと思います。 ・ なお、冒頭でもお話ししたとおり、この議案につきましては、大垣市情報公開条例第6条に規定する非公開情報が含まれますので、傍聴者の方、報道機関の方は、恐れ入れますが、ここでご退席いただきますよう、お願いいたします。 ※非公開のため略
事務局	・ ■■■委員長様、誠にありがとうございました。 ・ 皆様方におかれましては、長時間にわたり、大変お疲れ様でございました。 ・ 今回も前回と同様、意見照会をさせていただきたいと存じます。 ・ お手元にございます、別紙様式のとおり、引き続き、土地利用構想の修正に関するご意見や、今回新たにご説明させていただいた、道の駅整備構想案につきましてもご意見をいただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。 ・ 回答は期限が短く、恐縮でございますが、11月11日（月）までとさせていただきたいと存じます。 ・ 今後のスケジュールでございますが、12月中旬からパブリックコメントを行い、来年の1月末頃を目途に、第3回会議を開催し、最終的な構想案をお示ししたいと考えております。 ・ その後は、3月の議会報告を経て、正式に策定・公表させていただく流れで進めてまいりますので、よろしく願いいたします。 ・ これをもちまして、第2回会議を終了させていただきます。 ・ お気をつけてお帰りくださいませ。 ・ 本日は、誠にありがとうございました。 （終了時刻 16：55）